

北里大学理学部同窓会報

2016年 第19号



第51回 北里大学同窓会講演会

カラダを守る

参加費無料

2016年2月7日(日) 14:00~16:00 (13:30 開場)

会場：小田急ホテルセンチュリー相模大野8階
小田急線相模大野駅中央改札口を出て北口徒歩1分



「健康と微生物」

わかもと製薬株式会社 薬粧事業部
ヘルスケア開発部長 鈴木 信之 先生



「花粉症のはなし」

独立行政法人 国立病院機構 相模原病院
地域医療・情報部長 石井 豊太 先生

定員 100名 申込不要 (定員になり次第締切) どなたでも参加いただけます



平成27年度 定期総会集合写真

● CONTENTS ●

会長挨拶	P 3
新任のご挨拶	P 4
平成27年度理学部同窓会定期総会報告	P 5
卒業研究功労賞	P 7
就職ガイダンス	P 7
平成28年度年会費納入のお願い	P 8
集会援助手続	P 8
同期会報告	P 9
理学部への寄贈品について	P 9
活躍する同窓生	P 10
近況報告バトンタッチ	P 12
理学部事務室より	P 16
平成29年度理学部入学試験日程(予定)	P 17
第51回北里大学講演会(理学部同窓会担当)について	P 18
就職センターからのお願い	P 19
同窓会からのお知らせとお願い	P 19



「この3年間で取り組みたいこと」

理学部同窓会会長 沼上 清彦

会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、理学部同窓会は、7,150名の会員を有し、規約にあります会員の親睦を図り、母校の発展に寄与することを旨に、役員諸氏の弛まぬ努力により種々の事業を円滑に進めさせていただいております。これも皆さまのご理解とご協力があればこそと深く感謝申し上げます。

さて、去る5月16日（土）に本会の定期総会が開催され、役員改選において、不肖私を会長に再任いただきましたので、微力ながらこの3年間の重責を担うことになりました。何とぞよろしくお願い申し上げます。

つきましては、この3年間は次の5点に対して重点的に取り組んでまいりたく存じております。

1点目は、理学部とのさらなる関係の強化です。現在のところ、学部長の真崎康博教授はじめ理学部の教職員の皆さまのご高配により、良好な関係が維持されていますが、さらに学部の発展に貢献できるような事業を開発して行ければと考えています。

2点目は、本会事業のターゲットを理学部卒業生に移行できるよう足がかりを構築したいと願っています。本会は、本年をもって衛生学部卒業生が3,557人〔化学科（1～32期）3,138人、生物科学科（1～6期）419人〕、理学部卒業生（1～18期）が3,593人〔物理学科780人、化学科1,593人、生物科学科1,220人〕となり、理学部卒業生が旧衛生学部卒業生を上回りました。これからは、理学部卒業生に軸足を置いた会務運営の必要があるからです。

3点目は、役員世代交代を図ることです。今期の改選で果たすことができませんでしたが、新たな理学部同窓会のあり方を鑑みれば、会長をは

じめとする役員世代交代は必須であり、この3年間でこれを達成できるよう、真摯に取り組みたいと思います。

4点目は、医療衛生学部同窓会との共催で同窓会創立50周年あるいは55周年に何らかの記念イベントを開催できるようにしたいことです。北里大学同窓会は1966年の創設であり、2016年度は北里大学同窓会開設50周年にあたります。北里大学同窓会の当初の構成員は、旧衛生学部卒業生だけでしたので、旧衛生学部同窓会の起源は、事実上、北里大学同窓会の起源と同一と見なすことができます。

したがって、旧衛生学部同窓会の発展的解消により設置された本会と医療衛生学部同窓会のルーツは、1966年発足の北里大学同窓会そのものであると考えています。

5点目は、本会が担当する第51回北里大学同窓会講演会を成功させることです。北里大学同窓会は、北里大学もしくは同窓会を地域住民にご理解いただくことを目的に毎年講演会を開催しています。相模原地区は、理学部、医療衛生、医学、看護の4学部同窓会の持ち回りで運営を担当しており、今年度は本会の当番です。平成28年2月7日（日）に小田急ホテルセンチュリー相模大野8階ファニックスにおいて、『からだを守る』をテーマに、2つの素敵な講演を予定しています。皆さまのご来場を心からお待ち申し上げます。

最後になりますが、同窓会は会員の親睦と母校の発展に寄与することを旨とする親睦・支援団体であり、理学部同窓会はそのような観点から、会員のため、後進のため、そして理学部の発展のために活動しておりますので、皆さまの一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



新任のご挨拶

「北里大学理学部における素粒子物理学の研究と教育について」

非線形物理学講座教授 川崎 健夫

4月1日付で理学部物理学科非線形物理学講座 教授として着任いたしました。川崎健夫と申します。大阪大学で学位を取得して日本学術振興会特別研究員を務めた後、新潟大学に15年在職して教育研究に従事して参りましたが、このたび縁あって北里大学に参りました。

専門は高エネルギー物理学です。前任校では主に粒子加速器を用いた高エネルギー実験や、原子炉を用いたニュートリノ実験に従事していました。この「高エネルギー物理学」という研究分野名は、一般の方にはあまり聞きなれないのではないかと思います。素粒子物理学や宇宙物理学を対象として実験による研究を行う分野です。2012年のノーベル物理学賞は、物質に質量を与える理論的枠組みである「ヒッグス理論」の提唱者に与えられましたが、その実証となる「ヒッグス粒子」がヨーロッパの巨大加速器で行われた実験で発見されたことを、ご記憶されているかもしれません。この実験は大規模な実験装置と国際共同研究グループで行われる典型的な高エネルギー物理学の研究と言えます。

北里大学理学部物理学科には、これまで、素粒子・原子核・宇宙に関連した実験的研究を行う講座がありませんでした。所属する非線形物理学講座では、これらに関連した理論研究がおこなわれてきました。今後は理論と実験で協力して、基礎物理学の研究を進めていきたいと思っております。

現在、素粒子物理学は「標準理論」と呼ばれる強固な理論の上に成り立っています。この理論は非常によくできており、これまで過去100年の数々実験結果の、ほぼすべてを説明します。しかし、幾つかの自己矛盾ともいべき問題点を抱えており、それ自身が究極の正しい理論とは考えられていません。例えば、現在の物質優勢の宇宙の成り立ちを説明することもできません。よって、標準理論を越えた物理 (Beyond the Standard Model) の探索は、現在そして今後数十年の素粒子物理学の主題といえます。もちろん、新しい理論の枠組みは理論物理学者によって活発に提唱されていますが、未知の物理を確認するには、やはり実験しかありません。現在このような標準理論を越えた物理の実験計画が立案されています。今後北里大学において、現在従事している実験だけではなく、長期的な展望をもって新しい実験計画に参加していきたいと考えています。

教育についても抱負を述べたいと思っております。長年他大学において教育にも携わってきました。北里大学理学部に着任してまだ半年で、まだ顔を見られていない学生も居ります。ことあるたびに前任校と比較してしまいありますが、当然ながら似ているところ、違うところがそれぞれあります。着任して、とにかく教員と学生との距離の近さに驚きました。「いつでも質問に来て良い」と言ったら、翌日には何人も部屋を訪ねてくれました。このような良い意味での「敷居の低さ」は、北里大学理学部の長所として今後も大事にしたいと思っております。

現在、大学における教育は、「実社会で役立つ人材の育成」という社会的要請によって大幅に変化することが求められています。特に過去10年において、大幅なカリキュラムの見直しが行われてきました。そのような改革・改善の中で、基礎科学としての物理学を教えることは、その意味・意義を問われることになりました。当然ながらカリキュラムの総計時間は有限です。古来より積み重ねられた体系的な学問の普遍的な部分を無くすことなく、新しい社会的要請にも答え得る人材を育成しな

ければなりません。そういう意味では、日々迷っています。外部から観るフレッシュな視点を維持しつつ、他の先生方と協力して、改善すべきところ、残すべきこと、新しく導入すべきこと等について、常に検討し続けたいと思っております。

ところで、高エネルギー物理学の分野では、学外・国外の研究者との共同研究を活発に行います。その過程で、グループで研究を進めること、つまり、スケジュールを決めて協力し、計画的に研究を進めることを学生に学んでもらいたいと思っております。他にも、自分の研究テーマに閉じこもることなく他の研究者・学生と活発に議論すること、それが自身の知見を高め、研究を進めることにもつながること、よい研究は発表してこそ意義があること、研究成果は判りやすい形で発表しなければ理解してもらえず有益な意見ももらえないこと等、学内の研究室から外部へと繋がることで多くのものが得られることを学ばせたいと思っております。物理学は数学と並んであらゆる学問の基礎となり得るものです。将来どんな分野へ行ってもやっていけるよう、チームで仕事を進める、問題を解決するために必要な知識を自分で探し吸収する、といった点について教えていきたいと思っております。これらは、どんな職業を選んだとしても、必ず役立つ能力だと思っております。

また、国際共同実験に参加することにより、グローバルな視点を養うことも重要だと考えています。例えば、世界最先端の研究では、当然ながら日々熾烈な競争が行われており、他の研究グループに先を越されないよう不眠不休で成果を上げるべく努力をします。しかし、多少発表が遅れてもデータの信頼度を高めることを重視するという文化圏もあります。物理学の研究者だからといって、すべてが理詰めで決められるわけではないのです。国際共同実験グループでは、このような文化的な違いも理解していかなければ協力して研究を進めることはできません。「自分のデータは正しいから、意見も正しい」では、何年も一緒に実験を続けることはできません。会議はいつも紛糾しましたが、合意点を見つかるまで議論を繰り返すしかありませんでした。このような意見の相違は、まさに実社会で直面する問題と同じです。語学だけではない、海外との違いを理解するための経験として学んでもらいたいと思っております。

物理学は体系化された学問です。講義を履修する順序も熟考したうえでカリキュラムを作成しています。学生は、学年があるにつれて知識を積み重ねつつ、だんだんと高度な内容に進みます。当然ながら高学年になるほど、ついてくるのが難しくなる者も増えます。さらに上の学年で苦勞するだけですので、あまい成績を付けるわけにもいきません。学年毎に基礎をしっかり習得させるために、多くの演習・実験等の履修を課しています。しかし、ともすれば面白みのない基礎学習に「飽き」ておろそかになりがちです。そのため、物理そのものの面白さを判りやすく伝えるよう努力したいと思っております。また、物理学の大きな体系の中でどの部分を学んでいるのか、将来何に役立つのかといった動機づけをすることも重要であると思っております。学部生にも入学時から機会があるたびに上記のような研究の魅力を伝えて、日々の講義の先に有るものをイメージできるようにしていきたいと考えています。

最後となりますが、同窓会の皆様方には、今後とも北里大学理学部における教育・研究に対して、引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。



平成27年度理学部同窓会定期総会報告



平成27年度理学部同窓会定期総会が5月16日(土)、午後1時から相模原キャンパス S号館(理学部校舎)3階 セミナー室に於いて開催されました。終了後、学部長、各学科長、就職指導委員長、事務長(所用の為、田中課長補佐が出席)に出席を頂き、学部、各学科および就職関係の近況説明が行なわれました。その後、ドミトリ-2階喫茶室に於いて懇親会を行いました。

出席者：44名(第1号議案の3名、第2号議案の1名を含む)：長原勝彦(HC1)、坂口洋(HC2)、櫻井典子(HC2)、竹澤美男(HC4)、中野勝雄(HC5)、沼上清彦(HC6)、小沼和久(HC6)、石原裕三(HC7)、麻生綱男(HC8)、石川一郎(HC9)、蓮沼良一(HC11)、國香清(HC11)、島崎道広(HC12)、藤本玲子(HC12)、内田宏(HC14)、森孝之(HC14)、須貝昭彦(HC18)、田所順一(HC19)、八井田文子(HC19)、甲斐恒人(HC20)、木村武俊(HB1)、佐藤康之(HC28)、千葉貴子(HC28)、渡辺知広(HC30)、前川敏郎(HB4)、村上裕章(HC31)、篠川裕子(HB5)、石原稔(HC32)、酒井利奈(SP1)、中野章代(SC3)、藤井祐介(SC4)、田村啓(SB4)、三浦慎一郎(SB5)、大滝正訓(SP7)、千ヶ崎裕介(SC7)、松本俊英(SP8)、今村敦(SP10)、齋藤昂良(SB10)、菅谷大地(SB10)、曾根靖人(SC11)、石毛達也(SB12)、逸見拓谷(SC17)、小田本実佳(SB17)、三田一帆(SB18)

委任状提出者：48名(第2号議案の1名を含む)：小池淳平(HC1)、西尾公男(HC3)、山岡輝昭(HC4)、石水相夫(HC10)、氏家重夫(HC12)、衣川佳美(HC13)、根岸恵一(HC14)、伏見尚登(HC16)、立松佐吉(HC18)、飯島宏(HC20)、鈴木芳弘(HC21)、小泉博之(HC22)、山下宣行(HC23)、椎名文乃(HC24)、小笠原正勝(HC25)、竹尾文彦(HC26)、櫛部一彦(HC26)、長谷部浩司(HC27)、坂内健志(HB2)、吉田奈美(HC29)、秋本謙(HB4)、福山勝也(HC31)、井村幸介(HB6)、桑原美保子(SP1)、中條総子(SC1)、吉瀬晴子(SB1)、平山幸司(SP2)、江島史緒(SB2)、小林琢也(SB3)、福島唯美(SC4)、吉本真紀子(SB4)、大西新(SP5)、田辺由美子(SC5)、東海林周平(SC6)、佐々木千明(SB6)、吉野成嗣(SB7)、小野憲司(SP8)、鈴木健太郎(SC8)、森口友敬(SB8)、田草川英昇(SP9)、荒木恒平(SC9)、岡田絵真(SB9)、富澤良弘(SC10)、露木早紀(SB11)、厚木将志(SC13)、上村和豊(SB13)、杉本愛(SP15)、新井慧(SB15)

欠席者：26名：星名達行(HC15)、山田淳(HC17)、北村光宏(HC23)、伊藤昌史(HB1)、嶋宮民安(HB3)、矢口晶(HB4)、河合匡(SC2)、山本あゆみ(SP3)、矢野太一(SC3)、小林麻衣(SP4)、國廣喜央司(SP6)、武者孔佑(SP7)、小林宣文(SP11)、奥田悠介(SP12)、上村勇介(SC12)、高嵩美文(SP13)、保住厚兵(SP14)、神田章宏(SC14)、新山勇人(SB14)、田中雅史(SC15)、川崎貴之(SC16)、藤川圭太(SB16)、南川晴紀(SP16)、長谷川祐紀(SP17)、山神廉弥(SP18)、新美恭(SC18)

<第7号議案終了後(-4名)、総会構成員数は114名>

1. 開会の挨拶

司会の蓮沼理事(HC11)が、規約第15条第2項に規定する総会構成員数113名に対して1/3以上が出席し、所定の定足数に達した旨を述べ、定期総会の成立することが報告され、開会を宣言した。

2. 議長団の選出

議長に三浦代議員(SB5)、副議長に藤本理事(HC12)、議事録署名人に坂口代議員(HC2)、島崎理事(HC12)、書記に酒井理事(SP1)が全会一致で承認された。

3. 沼上同窓会会長挨拶

沼上会長(HC6)から、出席者へ日頃の同窓会活動への理解と協力に対する謝辞が述べられた。

続いて、会報に関して一部会員に発送の遅れが生じたこと、本会ホームページのサーバー移管手続きの遅れ、理学部との関係や同窓会の現状などについて説明があった。

本会は来年度50周年を迎えることから、できれば医療衛生学部同窓会との共催で創立50周年あるいは55周年に何らかのイベントを開催したい旨の説明があった。本年で会員数が約7,150名になり、理学部卒業生が旧衛生学部卒業生を上回ったことを受けて、今後、事業のターゲットを理学部卒業生に移行して行く必要性について述べられた。

4. 報告および決議事項

★報告事項

- 平成26年度事業報告および平成26年度収支決算報告の件
千葉事業担当副会長(HC28)から平成26年度事業報告を、また須貝財務担当副会長(HC18)から平成26年度収支決算書に沿ってそれぞれ報告した。
- 監査報告の件
櫻井監事(HC2)から、平成26年度の監査結果が正確かつ妥当との報告があった。
平成26年度の事業、決算および監査報告を審議し、全会一致で承認された。

平成26年度収支決算書

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

収入の部 (単位：円)

費目	①予算	②決算	増減(②-①)
学部還元金	5,234,000	5,234,000	0
年会費	390,000	300,000	△90,000
会報送料補助	362,000	362,000	0
利子	4,000	2,518	△1,482
前年度事業資金	250,000	250,000	0
雑収入	0	10,000	10,000
積立金戻入	0	0	0
前年度繰越金	841,174	841,174	0
合計	7,081,174	6,999,692	△81,482

支出の部 (単位：円)

分類	大項目	中項目	①予算	②決算	増減(②-①)
運営費	会議費	総会費		502,429	
		理事会費	1,250,000	502,670	1,043,895
	事務局費	委員会費		38,796	
		事務人件費		1,151,455	
		通信費	1,730,000	25,726	1,253,991
		通信用料		70,870	
渉外費	雑費		5,940		
	慶弔費	300,000	62,258	233,078	
事業費	集会援助費	交際費		170,820	
			200,000	112,000	112,000
	会報発行		1,350,000	1,201,732	△148,268
	就職ガイダンス		550,000	416,095	△133,905
	教職員との懇談会	懇談会費	250,000	204,823	△45,177
	学部への寄贈品	図書	600,000	99,857	596,872
		物品		497,015	
	講演会協力費	担当手当	100,000	37,100	37,100
	卒業研究労務		240,000	240,000	0
	カミングホーム		0	0	0
	準会員支援	卒業祝賀会協賛金	150,000	128,520	128,520
	ホームページ	プロバイダー費	100,000	99,525	99,525
	積立金		0	0	0
	次年度用事業資金		0	0	0
予備費		261,174	0	0	
合計		7,081,174	5,567,631	5,567,631	

次年度繰越金	1,432,061
--------	-----------

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	14,961	前期積立金	12,670,638
郵便貯金	561,370	次年度繰越金	1,432,061
普通預金	6,006,050	預り金	51,400
事務局用普通預金	471,837		
定期預金	7,099,881		
合計	14,154,099	合計	14,154,099

平成26年度監査報告書

北里大学理学部同窓会規約第9条第4号の規程に基づき、平成26年度(自・平成26年4月1日 至・平成27年3月31日)の会計並びに事業の執行を監査した結果、正確かつ妥当であることを認めます。

平成27年4月4日

北里大学理学部同窓会

監事 櫻井典子
監事 村上裕章

★決議事項

第1号議案 新代議員選任（3名）の件

沼上会長から、山神廉弥氏（SP18）、新美 恭氏（SC18）および三田一帆氏（SB18）の新代議員3名の提案があり、審議し、選任された。

第2号議案 代議員交替の件

沼上会長から、衛生学部化学科19期代議員および理学部物理学科8期代議員の役員選任により、田所順一氏（HC19）および小野憲司氏（SP8）への交替代議員の提案があり、審議し、選任された。

第3号議案 規約一部改正の件

本会「代議員推薦等にかかる細則」に於ける「2号代議員」廃止に伴い、本会規約の一部を以下のように改正提案があり、審議し、承認された。

- 1) 第10条第2項を変更する。
- 2) 第10条第2項の第1号、第2号および第3項を削除する。
- 3) 現第10条第4項の現行を第3項に繰り上げる。
- 4) 第11条第1項第2号の「1号」を削除する。
- 5) 第11条第1項3号を削除する。

下線部は削除部分 太字は変更部分

変更前	変更後
(代議員) 第10条	(代議員) 第10条
2 代議員の選任は次のいずれかの選任により総会で選任する。 (1)各各期より1名の推薦（以下、「1号代議員」という。） (2)各地方単位より1名の推薦（以下、「2号代議員」という。）	2 代議員は、各各期より1名ずつの推薦により総会で選任する。
3 2号代議員の総数は20名を超えないものとする。	3 代議員推薦にかかる細則は別に定める。
4 代議員推薦にかかる細則は別に定める。	4 → 3（現行どおり移行）
(役員および代議員の任期) 第11条	(役員および代議員の任期) 第11条
(2) 1号代議員 3年 (3) 2号代議員 3年	(2) 代議員 3年

第4号議案 継続代議員選任（再任）の件

本総会をもって任期満了となる代議員の選任（再任）と理学部16期（残任期間1年）ならびに17期（残任期間2年）を含めて審議し、承認された。

第5号議案 平成27年度事業計画案および第6号議案 平成27年度予算案の件

千葉副会長から平成27年度事業計画案、また須貝副会長から平成27年度予算案に沿ってそれぞれ説明が行われた後、全会一致で平成27年度事業計画案および収支予算案が承認された。

平成27年度事業計画

- 1 会報の発行
同窓会報第19号（通算45号）を平成28年1月に発行する。
- 2 学部教職員との懇談会の開催
学部教職員との懇談会を平成27年7月4日（土）に開催する。
- 3 会員集会援助の継続
同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一趣旨の会への援助は年1回までとする。
- 4 ホームページの更新
ホームページ環境の改善に取組み、合わせて会員への情報提供の一助として、ホームページをリアルタイムに更新する。
- 5 会員情報の管理
本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。
- 6 第21回就職ガイダンスの開催（理学部との共催）
平成27年12月12日（土）に理学部3年生を対象とした就職ガイダンスを理学部と共催する。
- 7 北里大学同窓会講演会の開催と協力
・本会担当の北里大学同窓会講演会を開催する。
・三水会（海洋生命科学部同窓会）担当の北里大学同窓会講演会に協力する。
- 8 学部への寄贈
寄贈図書：10万円相当の学生（準会員）利用図書を学部図書館へ寄贈する。
- 9 第10回「卒業研究功労賞」の表彰

- 卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。
- 10 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）
卒業記念パーティーに祝い金を持参する。
 - 11 北里研究所創立100周年・北里大学創立50周年記念事業募金への協力
記念事業に於ける「大学施設の拡充」を指定して100万円の寄付を行う。
 - 12 その他

平成27年度収支予算

平成27年4月1日 至平成28年3月31日

収入の部		(単位：円)		
費目	①平成27年度	②平成26年度	増減(①-②)	
学部還元金	5,285,000	5,234,000	51,000	
年会費	300,000	390,000	△90,000	
会報送料補助	372,000	362,000	10,000	
利子	3,000	4,000	△1,000	
前年度事業資金	0	250,000	△250,000	
雑収入	0	0	0	
積立金戻入	700,000	0	700,000	
前年度繰越金	1,432,061	841,174	590,887	
合計	8,092,061	7,081,174	1,010,887	

支出の部 (単位：円)

分類	費目	①平成27年度		②平成26年度	増減(①-②)	
		①平成27年度	②平成26年度	③平成26年度		
運営費	会議費	総会費	1,000,000			
		理事会費	400,000	1,600,000	1,250,000	350,000
		委員会費	200,000			
	事務局費	事務人件費	1,350,000			
		通信費	50,000	1,730,000	1,730,000	0
		物件費	300,000			
渉外費	雑費	30,000				
	慶弔費	200,000	300,000	300,000	0	
事業費	交際費	100,000				
	集会援助費		200,000	200,000	0	
	会報発行		1,350,000	1,350,000	0	
	就職ガイダンス		550,000	550,000	0	
	教職員との懇談会		250,000	250,000	0	
	懇談会費		250,000	250,000	0	
	図書	100,000	100,000	100,000	0	
	学部への寄贈品	0	100,000	500,000	△500,000	
	物品					
	講演会費		100,000	100,000	0	
卒業研究功労賞		240,000	240,000	0		
ホームページ		50,000	100,000	△50,000		
カミングホーム		0	0	0		
準会員支援	卒業祝賀会協賛金	150,000	150,000	0		
Kitasato100×50	寄付	1,000,000	0	1,000,000		
積立金		0	0	0		
次年度用事業資金		250,000	0	250,000		
予備費		222,061	261,174	△39,113		
合計		8,092,061	7,081,174	1,010,887		

第7号議案 役員選任の件

本総会をもって任期満了となる役員の選任を行い、提案どおり承認された。

議長団の解任および閉会の辞

連沼理事から、議事の終了が宣言され、議長団が解任された後、閉会を宣言した。

※ 総会終了後、学部から真崎学部長、菅原物理学科長、丑田化学科長、高松生物科学科長、弓削就職指導委員長ならびに田中課長補佐に出席頂き、学部・各学科・就職・事務室などの近況報告を頂きました。

その後、理学部校舎前にて先生方と記念撮影を行い、懇親会場のドミトリー2階喫茶室に移動し、学部の先生方を交えて総会出席者が和やかに歓談し、交流を深めました。

懇親会会場は、新病院の職員食堂およびL1号館2階学生食堂の検討を行いました。それぞれ難しい点があり、最終的にドミトリー2階喫茶室で開催することになりました。利用したことのない初めての会場でしたが、雰囲気も良く、料理も今までと変わらず楽しい時を過ごすことが出来ました。

今回初めて、会費制で二次会を相模原野で開催しました。先生方と若い代議員も参加し、有意義な会となりました。

来年の総会場所は、白金キャンパスか全学同窓会開催場所の新宿のホテルの予定を計画していました。今回開催した懇親会会場が2年後には閉鎖予定であること、予算的に開催可能なら来年も相模原キャンパスで行えないかの提案があり、上記の結果を踏まえて慎重に審議し、相模原キャンパスで開催することになりました。

質疑応答時間を確保のため、総会開催時刻を少し早める予定です。詳しくは同窓会HPに記載予定です（総務担当記）。

卒業研究功労賞

平成27年3月23日（月）、ヒルトン東京において、平成26年度北里大学理学部卒業記念パーティーが開催され、本会会長より第10回卒業研究功労賞の表彰が行われました。

『卒業研究の原動力』

SB19 三宅 里奈

北里大学卒業から早くも1年の時が経ち、2時間もかけて通学していた学生時代を懐かしく感じます。

私の学生生活は、仲間からの刺激でいっぱいでした。ただなんとなく、生物が好きだから、という理由で北里大学SBに入学した私は、入学して最初の試験で、周りの学生の勉強熱心さに驚きました。試験前、S号館のラウンジで、皆で机を囲み勉強していた姿は今でも印象的です。疑問に思ったことはとことん考え、話し合い、答えを探る姿勢に、いつも刺激をもらっていました。

そのような仲間がいたからこそ、私も皆に負けていけないとの思いで、勉強だけは真面目に取り組んできま

した。そして、卒業研究も同じく、優秀な友人たちの研究の成果を度々耳にすることで、自分の研究を粘り強く進める原動力としていました。功労賞受賞は皆様のおかげです！ありがとうございます！

人の良き所を見習うという姿勢は、社会人となった今でも変わっていません。今の私の周りには、若くしてリーダーとなって頼られる人、出産後も変わらず活躍し続ける人など、尊敬する人がたくさんいます。そのような方々から、学生時代と同じように刺激をもらい、優れた点を吸収していくことで、これからも成長していきたいです。



就職ガイダンス

平成27年12月12日（土）、L1号館41講義室において、理学部3年生・修士1年生を対象とした就職ガイダンスが開催されました。今回は、講演と履歴書・エントリーシートの解説講座、模擬面接（学部3年生3名、修士1年生4名の2グループ）を実施しました。

就職講演

『化粧品、食品業界での就業経験を基に、これから就職活動する皆さんに伝えたいこと』

アサヒフードアンドヘルスケア

宮田 智 様（1994年HB卒業）

履歴書・自己紹介書（エントリーシート）の解説講座

シミック・アッシュフィールド株式会社 人財開発本部

マネージャー 藤田嘉一 様（1982年HC卒業）

アサヒビール株式会社 営業統括本部

経営相談担当部長 設楽英幸 様

模擬面接（集団面接）、講評

シミック・アッシュフィールド株式会社 人財開発本部

マネージャー

藤田嘉一 様

HRBC株式会社 代表取締役 松下純也 様

アサヒビール株式会社 営業統括本部

経営相談担当部長

設楽英幸 様



平成28年度年会費納入のお願い

本会のより活発な活動の為に平成28年度会費の納入をお願いします。

年会費：3,000円

納入方法：1) 他の金融機関から「ゆうちょ銀行」に振り込む場合：

■ 銀行名 ゆうちょ銀行 ■ 金融機関コード 9900 ■ 店番 029
 ■ 預金種目 当座 ■ 店名 〇二九店（ゼロニキユウ店） ■ 口座番号 0060155

2) 郵便振替の場合：

■ 口座番号：00260-9-60155 ■ 加入者番号：北里大学理学部同窓会

★お知らせ★

本会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。

「送金方法と手数料について」

①通常払い込みの場合

(現金により払い込む送金方法：ゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口で払い込むことができます)

手数料：窓口扱い 払込金額5万円未満=130円、ATM扱い 払込金額5万円未満=80円

②電信振替の場合

(送金人の口座から口座の預り金を即時に振り替える送金方法：ゆうちょ銀行、郵便局の貯金窓口、ATMまたはゆうちょダイレクトから利用可能)

手数料：窓口扱い=144円、ATM扱い=無料、ゆうちょダイレクト扱い=月5回まで：無料

※振込手数料はご負担くださいますようお願い致します。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方は、電信振替でATMにて手続きして頂けると手数料無料で送金ができます。

集会援助手続

理学部同窓会会員集会援助をご利用ください

【集会責任者】

- (1) 集会援助申請書類の入手
(事務局に問合せ、又はHPからダウンロード)
① 会員管理システム利用申請書
② 集会援助金申請書

- (2) 申請書①に責任者3名の署名・捺印
(3) 申請書①の提出(事務局へ持参、又は郵送)

- (4) 集会開催 ※

- (5) 申請書②および③訂正された会員データを提出
(事務局へ持参、または郵送)

- (6) 集会の様子を原稿にして同窓会にご連絡ください！(任意)

【理学部同窓会・事務局】

事務局の連絡先
〒252-0373 相模原市南区北里1-15-1
TEL/FAX 042-778-9032
E-mail info@kitasato-rigaku-d.jp
ホームページ
http://kitasato-rigaku-d.jp http://北里大学理学部同窓会.jp

本会理事会での承認

申請のあった名簿一覧と郵送用タックシールの作成・提供

②、③を確認後、集会援助金を助成
(案内状印刷・郵送費として、200人までの集会では¥200/人、201人から¥100/人)

※援助を受けられる集会

- ① 同期会
② 参加者の60%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会
③ 医療衛生学部同窓会会員と合同で開催し、参加者の30%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会

同期会報告

平成27年度衛生学部化学科 6期生同期会を終えて

HC6 吉元 久子

11月7日（土）に衛生学部化学科6期生の同期会を、昨年に引き続き渋谷のベルマーレで開催しました。遠方の福岡をはじめ各方面からの参加と、卒業以来44年ぶりに出席された方もありました。

特に今回はノーベル賞を受賞された大村智先生に直接ご教授を受けた方の話題で大いに盛り上がったことや、在学当時と27年前の同期会の写真を見ながら、白金のコッホ神社や大学のエンブレムなどにまで話が及び、懐かしい思いを甦らせました。そしてこれからの就活や終活の話題もあったりして、笑いと思い一杯の会となりました。また、参加できなかった方々のメッセージを幹事から披露し、それぞれが懐かしさに浸るひとときを、時

間いっぱいまで話に盛り上がりました。

更に、KITASATO 100×50記念事業への寄附を、出席者全員の賛同を得て決定することが出来ました。

来年度の開催も約束でき、一人でも多くの方のご参加を幹事一同お待ちしております。

最後に、沢山のデザートや素敵なサービスをご提供いただきました、ベルマーレの木津秀幸オーナー（HC2）はじめお店の皆さまに感謝申し上げます。



衛生学部化学科13期 還暦同窓会

HC13 菅原 節子

10月17日に衛生学部化学科13期の還暦同窓会を銀座で開催しました。

福岡、大阪、長野などの遠方からの参加もあり、久しぶりの再会に和やかな雰囲気の中、和気あいあいの楽しい同窓会となりました。還暦を迎えても～君、～ちゃんと呼べるなんてとっても素晴らしく、体型は変わっても、その面影は昔のままで、すぐに懐かしい時代にタイムスリップしました。

10月上旬にノーベル賞を受賞された大村先生の研究室で卒業研究をした同窓生もいました。大村先生は、旅行や帰省する学生にもビニール袋を渡し、土の採取をお願いしていたそうです。

相模原キャンパスの移り変わりを映したスライドショーを見て、新しく生まれ変わったキャンパスに行きたいと

いう声もありました。またビンゴ大会では、大学オリジナルのクッキーや北里八雲牛の加工品を景品にしました。

そして、あっという間の3時間が過ぎました。

還暦という節目を迎え、第2の人生をいかに有意義に過ごすかが大きなテーマとなりました。ほぼ全員参加の2次会終了後は、次の同窓会まで健康に留意して再会しようという約束をしました。

最後になりましたが、同窓会事務局にご協力頂きましたことを感謝申し上げます。



理学部への 寄贈品について

本会から理学部へ、図書18冊を寄贈致しました。



活躍する同窓生

バナナの研究でイグ・ノーベル賞を受賞して(後編) ～日常の中に見逃されていた本質的なものがある～

SP1 酒井 利奈

バナナの皮の摩擦係数を測定し、滑りやすいことを証明した馬淵清資教授(医療衛生学部)、田中健誠さん(医療系研究科博士課程)、内島大地さん(同研究科修士課程修了、現在PMDA所属)、酒井利奈(医療衛生学部)の4名が2014年イグ・ノーベル物理学賞を受賞した。前編では馬淵教授が授賞式でバナナを掲げパフォーマンスしたお話しと、授賞式の案内状がゴミ箱へ保存された裏話について紹介した。後編ではバナナの皮の摩擦係数を測定するに至った経緯について理学部同窓会の皆様を紹介する。

事の発端は1988年。馬淵教授が執筆された著書(バイオトライボロジー 関節の摩擦と潤滑, 産業図書)の記述が起因である。

酒井「30年近く、ずっと気になっていることというのは一体何ですか?」

教授「関節の潤滑はバナナの皮を踏んだときのすべりの良さを連想させると書いたが、エビデンスがあるのだろうか。」

酒井「バナナの皮が滑ることにエビデンスですか? 常識のように思えますが、誰も立証していないかもしれませんね。」

教授「立証されていないことを記述するのは、科学の世界ではルール違反だ。退官するまでに証明しなければいけない。」

数日後、教授は北里マートでバナナを購入し、うれしそうに小脇に抱えてやってきた。「バナナの摩擦係数を測るから後で手伝ってね。」と声をかけられ、大学院生2名と私の心の声「私達、忙しいのですが。」がハモった。測定を頼まれることを覚悟したが、皮がほしいからバナナを食べてほしいと告げられた。お手伝いは食べるのか、それならお安い御用と思った。最初のうちは…。いざ測定しようとする、バナナの皮の摩擦係数は非常に測りづらいことがわかった。摩擦係数を測る簡単な方法として、斜面に対象物を置いて傾け、その傾きがどれくらいで対象物が滑り出したかを見る方法がある。しかし、この方法で計るとバナナの皮の内側の摩擦係数は1.5。この数字は靴の裏よりも大きい、つまり「滑らない」という結果がでた。仕方なく馬淵教授自ら、バナナの皮を踏んでみたところ、みごとに滑った。危なかった。

しかし、踏むことで摩擦は十分の一に減ることがわかり、踏みつけた状態で実験を継続することにした。力を測るセンサーの上に床材、その上にバナナを置いて足で踏み摩擦係

数を測るという計測方法が確立した。朝食に、昼食に、夕食に、うんざりするほど食べたバナナ。この皮を使い、教授は数百回滑った。摩擦測定で、バナナの皮と床の間は0.06という摩擦係数が出た。雪の上をスキーで滑る数値0.05に近い。何もない床を踏むより約6倍、氷の上を靴で歩くよりも滑りやすい。しばらく経ったある日、研究室の片隅で気配を消した馬淵教授が真剣に顕微鏡を覗いていた。顕微鏡のステージに力なく横たわる黄色い物体は、バナナだった。顕微鏡をのぞくとバナナの皮の内側には白いツブツブが確認できた。踏むと中から、ヌルヌルした粘液が出た。ツブツブ→ヌルヌル。つまり皮の表面が固体から液体に変わり、滑りやすくなる¹⁾。馬淵教授はこの内容について学会発表をしたが、何の手ごたえもなかったと言う。「学会発表のときはみんなキョトンとした感じだったよ。主に自動車のエンジンの潤滑を扱っている学会だからね。役に立たない研究をするなどという厳しい指摘もあった。そういう意見は今もよく伺うが。」冷ややかな反応を受けたことを振り返る時でさえ、馬淵教授は楽しそうに話す。

馬淵教授がバナナの皮で世に問うたことは、当たり前前のことに疑問を感じる心、それを納得できるまで探求する姿勢が今の自分にあるか、ということ。日常見慣れた身の回りの事柄の中にも、新たな発見、見逃されていた本質的なものがあるはずである。工学の研究分野において技術は飽和し、研究し尽くされたと考える学生もいる。でも、違う。バナナはなぜ滑るのかを追究した先には、発見の感動があった。教授がバナナの皮で世に問うたことは、当たり前前のことに疑問を感じる心、それを納得できるまで探求する姿勢が大事、ということ。授賞式が開催されたアメリカから帰国された教授は仰った。「笑えるかどうか。そこに科学の奥深さがある。」右手には、バナナのぬいぐるみが握りしめられていた。

1) Mabuchi K, Tanaka K, Uchijima D, Sakai R: Frictional coefficient under banana skin. Tribology on line, 7(3): 147-151, 2012.



活躍する同窓生

『ママとして、科学者としての海外生活』

SB5 小野 佳代
(旧姓：山田)

理学部生物科学科5期の小野(旧姓:山田)佳代です。この度は近況報告を書かせて頂ける機会を頂き、とても嬉しく思います。

私は2002年に理学部を卒業後、北里大学大学院理学研究科にて2007年に博士課程を修了しました。その年にイギリスのスコットランド地方にあるUniversity of Dundee / Wellcome Trust Biocentreにてポスドクとして働き始め、2010年にSenior Research Associateになりました。2014年に同研究所はケンブリッジ、オックスフォードを抜き、英国で最も優れた生命科学研究所に選出されています。私の大きな転機になったのは博士課程2年の時のイギリスでの学会発表でした。その際に同研究所を見学する機会があり、優れた研究環境や様々な国や地域から人が集まっている国際的な研究機関での仕事に対しての夢が膨らみ、タンパク質の網羅的な解析(プロテオミクス)研究で世界的に有名であったラモンド研究室(Lamond lab.com (<http://www.lamondlab.com/newwebsite/home.php>))に応募したところ、幸運にも採用が決まりました。

北里大学では遺伝子機能発現学講座に在籍し、分子生物学的な手法を用いて一つのタンパク質を詳細に解析していますが、ラモンド研究室での私の研究テーマは「細胞のがん化に伴うタンパク質の挙動を網羅的に解析すること」で、一度に数千種類のタンパク質を扱います。当初は同僚の仕事を手伝いながらいくつかの成果をあげ、2013年には自分の研究成果が実を結び、FMN2というタンパク質が細胞周期調節因子であるp21タンパク質の安定性を調節しているということを国際的に権威のある雑誌で発表しました(*Molecular Cell* 2013 922-933., *Cell Cycle* 2013 2348-2354.)。この研究で重要だった点は、p21は腫瘍抑制因子p53によってRNAレベルでの制御を受けていることが定説でしたが、それと同様か、場合によってはそれ以上に重要なのはFMN2によるタンパク質レベルでの制御だということを示した点です。前年に

は、がんの新規バイオマーカーとしての特許を取得し、2014年には同研究にて医学賞Howard Elder Prizeを頂きました。

仕事以外では、渡英後の8年間に結婚、出産、育児という大きな変化がありました。今では5歳の息子、3歳の娘がおり、その間も女性研究者としてフルタイムで仕事を続け成果をあげられました。それはもちろん影日向なく支えてくれた夫のおかげですが、でもそれだけではなく、産休などの充実したサポート制度、医療費ゼロ、大学までの学費ゼロという充実した福祉にも大きく支えられています。母親になっても仕事を続けるというのは本当に多くの人たちの協力が必要で、保育園や小学校の先生、近所の人たち、職場など、応援してくれる全ての人々に感謝の気持ちでいっぱいです。実は現在、3人目がお腹にいて、最後のマタニティー研究生生活(?)を楽しみながら、同時に出産後のキャリアアップの準備も周りの人に相談しつつ始めています。

もう一つ紹介したいことは、この地方の豊かな自然です。天気の良い日には乗馬で散歩している人たちがいたり、ハリネズミや野うさぎなどが歩道の茂みに隠れていたり、春にはどこまでも続く菜の花畑、海岸線にはツノメドリの生息地があり、中州ではアザラシが親子で昼寝をしています。私がこの地方での暮らしを愛して止まない理由の一つです。

この場所に辿り着けたのも北里大学で学んだことが基盤となっており、自分の夢を目指して進んできた結果だと思います。しかし在学中に英語や研究がずば抜けていた訳ではなく、ママとして、科学者として海外生活をする大きな自信があった訳でもありません。これから科学者を目指す女性、そして男性も、まだ進路を決めていない学生の皆さんも、チャンスがあるならばどうか「自分なんか」と思わず、是非チャレンジして下さい。それぞれの夢がかないますよう、イギリスの空の下からエールを送ります。



近況報告バトンタッチ

『卒業後49年 上武大学理事長としての毎日』

HC02 澁谷 朋子
(旧姓：三俣)

1966年（昭42）に大学を卒業してから49年、半世紀が過ぎようとしています。

卒業後は1971年に結婚二児の母となり夫のアメリカ、ロックフェラー大学留学に同行し三年間のNY暮らし。毎日の生活に追われていたとはいえ異なった国の人たちとの交流、アメリカ国内外への旅行と充実した日々を過ごしました。

子供も成長した現在は、群馬県高崎市と伊勢崎市にある「上武大学」の理事長をしています。上武大学創立者で初代理事は私の実父です。

上武大学はビジネス情報学部スポーツ健康マネジメント学科と国際ビジネス学科、看護学部、大学院（経営管理研究科）があります。ご存知の方もいらっしゃると思いますが上武大学はスポーツが大変盛んです。特記すべきは硬式野球部と陸上競技部の活躍です。

硬式野球部は2009年秋明治神宮学生野球大会で準優勝、2013年春全日本大学野球選手権ではついに優勝をなしとげて、悲願の日本一となりました。今春の全日本大学野球選手権大会、そして秋の明治神宮野球大会でどちらもベスト4、野球の全国大会での常連校となり多数のプロ野球選手も輩出しています。

陸上部の駅伝は今年のお正月で箱根駅伝8年連続出場を果たしております。また陸上トラック200メートル競走では、昨年全日本陸上競技大会でオリンピック選手を押し日本一となった原翔太君が現在社会人となり、東京オリンピックを目指して競技者生活を続けています。今年度陸上のニュースに入れたいのは、日本学生対校陸上選手権1,500メートルで、井上弘也君が優勝したこと。ダンボの耳のようにしてスポーツのニュースを楽しみにしている毎日です。

看護学部は平成16年に創設。群馬の私学では最初に作られた看護学部です。学長学部長ともに医師で医学の知識をしっかりと身に付けた医学に強い看護師の養成をしています。また医学生理学研究所を併設し、ここでは学長をはじめとする研究者が世界最先端の医学の研究を行

っています。その研究は学生たちにも還元され研究の面白さ楽しさなども伝えていきます。

上武大学は日本の大学で初めて選択科目美術の時間に絵手紙を導入しました。絵手紙は絵と文字と文章から成り立っています。宛名はおもての上半分に、下半分には手紙文を書きます。このわずかな200～300字の手紙文が文章力を養ってくれます。また絵手紙は墨で輪郭線をかきますが、筆のてっぺんを持って筆先で線を引くときの集中力は素晴らしいものがあり、にぎやかだった教室も嘘のように静かになります。このように教養科目として導入した絵手紙でしたが、看護学生からは「患者さんと一緒に絵手紙をかいて交流できた」、4年生からは「文章力が上がって就活に役立った」、スポーツをする学生からは「集中力の養成になった」等、思いがけない効果もあるようです。これがきっかけとなり、2014年4月には手がき文化研究所を設立。所長として上武大学客員教授で日本絵手紙協会名誉会長小池邦夫先生をお迎えし、絵手紙をはじめ手がきの文化を幅広く研究し公開講座やシンポジウムのほか海外での絵手紙文化の普及なども行っています。2015年3月はパリで実施し、2016年はニューヨーク開催も計画しており学生の海外研修の一環としても役立っています。また2014年5月には絵手紙ギャラリー&ミュージアムも開館。絵手紙だけでなく手がき作品などを数多く展示して、地域の皆様にも喜ばれています。

2018年、上武大学は創立50周年を迎えます。記念事業のひとつとしてトレーニングルームと体育館機能を併設した「上武大学アリーナ」の建設に着工しました。教育の質の充実と向上はもとより施設の充実拡大も行い、学生みなさんに「進学して良かった」と思われる大学を目指して一層の努力をしまりたいと考えております。

同窓生の皆様には北里大学と同様に上武大学も応援して頂けましたなら嬉しい限りです。

次のバトンは、わたくしの同期であります桜井典子さんにお渡ししたいと思います。



近況報告バトンタッチ

HC30 渡辺 知広

ある日の晩、勤務先から帰宅しようと浅草駅に向かっていると、化学研究会の部長を務めてくださっていた坂口洋先生からの着信。一抹の不安を感じつつお話を伺ってみると、同窓会の代議員を務めないかとお誘い。化学科第2期生でもある大先輩からの打診に対して適当な言い訳も思い浮かばず…。その数ヶ月後には同窓会総会に出席させていただくことになり、そういったご縁を機会に今回こうして近況を申し上げる次第です。

平成7年(1995年)に化学科を卒業した私は、教職に就きたいという思いに囚われつつも、字を書くことが苦手な人にとっても楽しく使える筆記具を開発するぞ!と文房具メーカーに技術職として入社。しかしながら、最初の配属先は特許や商標などの知的財産権を管理する部署。他大学の化学科卒の同期入社の方々は全員研究開発の部署に配属。このことには正直ひどく落ち込みましたが、社内をはじめ特許事務所の方々や業界団体を介した他社の方々など多くの方と関わる中で、果たすべき役割の意義や重要性が理解できるようになり、むしろ知的財産権管理業務に携わることができて幸運だったのではないかなと思うまでに。弁理士試験にも挑み、いよいよ2次試験へというところで、ドイツにある欧州全体を営業範囲とする販売会社への出向機会が訪れて、これが青天の霹靂というヤツか!としばらく悩んだものの、分析化学教室(衛生学部当時)の大石茂郎先生が「海外に行けるチャンスは掴むべき」と(いう主旨の事を)ご自身のご経験をまじえてお話をくださったことを思い出し、渡独。5年半にわたるドイツ駐在の間にはいろいろと貴重な経験をさせていただきましたが、若気の至りからなのか、帰任してから1年ほどで新しい環境でチャレンジしてみたいという思いが強くなり、入社してから12年間に亘ってお世話になった会社を離れ、いまの勤務先へ転職。

しばらくは海外のグループ会社の経営をサポートさせ

ていただく業務にあたっておりましたが、これからは社会課題の解決に絡めた活動も重要ではないかという思いから、広く社会と企業のサステナビリティ(持続可能性)に携わることになりました。事業に密接に結びついている社会課題、例えば、水資源の適切な利用と保全といった事業制約の回避/事業機会の創出や諸活動のレポートイングなどに取り組んでいます。現在の勤務先では酒類の製造販売を事業としていることから、アルコールの不適切な飲用、具体的には、大量飲酒や未成年者飲酒に起因する健康被害、飲酒運転による悲惨な事故等を防ぐための啓発活動などにも取り組んでいます。それらの課題・業務に携わっていると、北里での学生時代から学科・部活動の仲間をはじめ多様な関わり・つながりを通して、いろいろなことに興味を持って過ごしてきたことが素地となって業務にも活かしているのではないかと思います。

この年齢になっても時折「どちらのご出身ですか?」と、生まれではなく出身校を尋ねられることがあります。「それを知ってどうしたいのかなあ」と些か困惑しつつも、衛生学部化学科の第1期生でいらっしゃる岡本義一先生が、入学して間もない私たちに「卒業したら社会で本学の名を広めるように努めるべき」と授業の中でおっしゃっていたことを思い出します。これまでのキャリアを振り返ると、自然科学を学んだ理系出身だと自覚・表現するには不安がつきまといいますが、少なくとも「ガツカリ系」呼ばわりされないように、と励んでいます。

最後までご覧くださり、ありがとうございました!(追伸)

「おっ、懐かしいな!」「風変わりなヤツだが面白そうだな」など連絡をとってみようかなと感じてくださった方、よろしければ、こちらまで → [facebook.com/tmhrwtbn](https://www.facebook.com/tmhrwtbn)



近況報告バトンタッチ

『きっかけは忠実に計ること』

SP1 池沢 聡

理学部物理学科一期生の池沢聡と申します。この度、当時同期で、現北里大学医療衛生学部の酒井利奈先生から原稿執筆の依頼を承りました。

卒業後はしばらく学習塾の講師をしていたのですが、新しい研究領域について興味がわき、もう少し勉強をしてみたいという気持ちから、2004年に、早稲田大学大学院情報生産システム研究科に入学致しました。本研究科のキャンパスは北九州市にあり、アジア方面の留学生がアクセスしやすい場所となっています。講義は半分程英語で行われ、博士課程以降は海外での学会発表や英語での論文執筆の機会が増えていきます。従いまして、卒業する頃には、かなりの英語力が身につけているようです。私は2009年に本研究科で情報生産システム工学の博士号を取得し、同機関で研究助手、助手を経て、現在助教をしております。講義科目は、大学院生向けにレーザー工学、レーザー計測、物理情報工学、生産システム概論、ナノマイクロメカトロニクス、センシングテクノロジー解析特別演習などを担当させて頂いております。研究内容は主に、小型センサの開発に関連したものとなっています。電子回路や材料特性など、工学の知識がベースとなりますが、化学センサやバイオセンサの開発では、北里大学で学んだ知識が非常に役に立っています。研究室の学生&研究員の出身国は日本、中国、韓国、タイ、ベラルーシ、ポーランドと非常に国際色豊かで、10代から、60代までと年齢層が幅広いことが挙げられま

す。研究員には電子回路、金属溶接加工のベテラン工を擁しているため、実験室や実験機器類の修理やメンテナンスは研究室内で行うことが可能です。工学系の研究科ならではの特徴でしょうか。

さて私は北里大学を卒業後、同窓生との交流がほとんど無かったのですが、あるきっかけがもとになり、再び旧友達に出会うことになりました。私は仕事柄、計測に関連した用語を頻繁に調べる習慣がありますが、“忠実に計る”という言葉が非常に気になる日が続きました。ある日、ネットで検索してみると当時大変お世話になった、前田忠計先生のフェイスブックのページが見つかりました。そういえばかつて前田先生から忠実に計ることの大切さを教わったなと思い出し、ようやく得心ができました。そこで、僭越ながら前田先生に友達申請をさせて頂いたところ、快く承認して下さいました。以降、前田先生を中心としてネットワークが広がり、物理学科の旧友達と出会う機会が生まれていきました。

10年以上経過して再会して驚いたことは、互いの外見の変化ではなく、不思議なことに学生時代以上に絆を深め合っていることを意識したことです。こんなに互いに気の合う者同士だったのかと認識が改められました。

これからも“忠実に計ること”と、その記憶から生まれた旧友との“絆”を大切に頑張っていきたいと思います。

次回は物理学科の同期の福島芳範くんにはバトンタッチしたいと思います。



近況報告バトンタッチ ～脇田 大功さんからのバトンタッチ

『北里大学で学んだ「研究的な学び」の中等教育への展開』 SB6 木村 健太

生物科学科6期生の木村健太と申します。この度、同期の脇田大功くんよりバトンを受け、近況報告をさせていただく機会を賜りました。宜しくお願い致します。

北里大学では、花岡和則先生のご指導のもと、生物学のおもしろさを心から実感することができました。研究者としてのキャリアを目指していた私ですが、この感覚を中高校生に伝えたいとの思いが強くなり、教職への転身を決意しました。修士課程修了後、大学に入り直して教員免許を取得。現在は、広尾学園中学校・高等学校という私立の中高一貫校に奉職しております。

広尾学園では、医進・サイエンスコースという理系のコースの立ち上げと、運営を担当してきました。このコースでは、医学やサイエンスへの興味を軸に、本質的な学びを実践することと、医師や研究者としてのマインドを確立することを目指した教育活動を展開しています。特徴的なのは本格的な「研究活動」を行っていることです。

研究テーマは生徒の希望を優先していますが、“新規性が高く社会貢献につながる”という基準を設定しています。平たく言えば、学会や論文として報告できるレベルのテーマを求めているということです。もちろんそのようなテーマはそう簡単に設定できるものではありません。生徒たちはまず、興味をもったことについて人類がどこまで解明できているのかを知る必要があります。Webを使って情報を収集しますが、最新の、しかも信憑性が高い情報を、最初から効率よく集めることはできません。しかし、試行錯誤を繰り返した末に彼らは、世界で最も新しく正しいであろう情報源として査読の通った学術論文に辿り着きます。もちろん論文は全て英語で書かれていますので、医学やサイエンスの世界における英語の重要性を知った彼らは、普段の英語の授業を受ける姿勢が変わります。このように、研究活動をきっかけとして、通常授業においても内発的な動機を軸にした学びが自然発生してきました。

高校1年生が論文を紐解きながら練りだした研究テーマは「老化の進んだ細胞からのiPS細胞作製効率亢進へ

のアプローチ」や「プラナリアにおけるTERTタンパク質の発現パターン解析と寿命獲得メカニズムの解明」と言ったレベル。今ではStanford大学で、現地の研究者の前に英語で発表し、ディスカッションをしたりもします。我々教員も生徒たちについていくのが大変です(汗)

それでも、北里時代に教えていただいた研究のおもしろさと、それを形にしていく喜び(と苦しさw)を、少しずつ中等教育に落とし込めるようになってきたと実感しています。

私は生物を専門としているせいかもしれませんが、生物界と同じように、人間社会でも「多様性」が非常に重要だと思っています。理想の医者や研究者像とはきっと、時代や場所、その社会に求められるニーズによって変わってきます。普遍的で正しい医師・研究者像などは存在しないのかもしれませんが。それでも生徒たちには常に理想を追い求めていて欲しい。多少格好悪くても本気で生きていて欲しい。そのためにはきっと“自分らしさ”がブレない土台になるはず。少なくとも私は北里大学で過ごす中でそう感じることができました。生徒たちも“自分らしさ”を十分に発揮して、一人ひとりがキラキラ輝く医師や研究者になってほしいと願っています。

元は女子校で、理系については何も無かった本校で、医進・サイエンスコースやサイエンスラボ(理科室)を立ち上げることができたのは、北里大学理学部の先生方から多大なるご支援を賜れたからに他なりません。生物情報科学講座の伊藤道彦先生には、高校生を対象とした実験実習を実施していただきましたし、分子発生学講座の花岡和則先生には、研究成果報告会の基調講演でお話していただいたりもしました。この場を借りて御礼申し上げます。理学部同窓生の皆様には、今後もお力添え賜ることが多々あるかと存じますが、何卒、宜しく願い申し上げます。

次のバトンは、同じ6期生としてともに学んだ、村岡大輔くんに渡したいと思います。



理学部事務室より

● 講座名称が変わります

平成28年4月より、理学部の一部の講座名称が変わります。

＜物理学科＞

非線形物理学講座 → 量子物理学講座

● 平成28年度オープンキャンパス・進学相談会開催情報（予定）

- I. 第2回オープンキャンパス：
平成28年8月6日（土）、7日（日）
- II. 第3回オープンキャンパス：
平成28年8月28日（日）
- III. 第1回進学相談会：
平成28年10月2日（日）
- IV. 第2回進学相談会・北里祭：
平成28年11月5日（土）、6日（日）

11月5日（土）、6日（日）は進学相談会と北里祭が同時開催されます。理学部S号館は外壁工事を実施し、平成27年12月末に竣工しました。生まれ変わりました理学部S号館を是非お訪ねください。

なお、理学部入試の過去問題、パンフレット等の頒布を行っております。詳細は北里大学ホームページ（<http://www.kitasato-u.ac.jp/>）をご覧ください。

● 教材の貸し出しを行っています

教員となられた卒業生の皆様に、ニワトリ胚標本、透明骨標本セットを教材として貸し出しています。教科書で教える動物発生よりも後の段階となりますが、肉眼で観察できますので、生徒の興味を惹く素材としてご利用いただけます。

詳細は下記（学生係）までお問い合わせください。



● 求人情報をお寄せください

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援により、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。そこで、同窓会の皆様におかれましては、益々のご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

求人票の学生への周知や、学内での企業説明会のご要望などを随時承っております。

お問い合わせ先

理学部入試に関すること

T E L 042 (778) 9172 (入試係直通)

F A X 042 (778) 9953

就職に関すること

T E L 042 (778) 8545 (学生係直通)

F A X 042 (778) 9953

大学院入試に関すること (理学研究科入試係直通)

T E L 042 (778) 9083

F A X 042 (778) 9953

平成29年度 理学部入学試験日程 (予定)

平成29年度（平成28年度実施）入学試験日程は以下のとおりとなっています。

理学部では、生命科学の基礎分野で研究力を身につけた人材を社会に送り出すことを使命とし、充実した教育・研究を実施しています。これらの使命をさらに発展させていくため、北里大学理学部の志を受け継いだ同窓生のご子弟の方々の入学をお待ちしております。

公募制推薦	募集人員	物理学科 4名 化学科 10名 生物科学科 10名		
	試験日	平成28年11月26日(土)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成28年11月7日(月)～平成28年11月18日(金)		
	合格発表日時	平成28年12月2日(金) 13時		
指定校推薦	募集人員	生物科学科 5名		
	試験日	平成28年11月26日(土)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成28年11月7日(月)～平成28年11月18日(金)		
	合格発表日時	平成28年12月2日(金) 13時		
一 般	募集人員	物理学科 23名 化学科 55名 生物科学科 35名		
	試験日	平成29年2月3日(金)	試験場(3会場)	相模原キャンパス・大阪会場・仙台会場
	受付期間	平成28年12月16日(金)～平成29年1月23日(月)		
	合格発表日時	平成29年2月10日(金) 13時		
センター試験利用(前期)	募集人員	物理学科 10名 化学科 10名 生物科学科 15名		
	試験日	平成29年1月14日(土)・15日(日) (大学入試センター試験)		
	受付期間	平成28年12月16日(金)～平成29年1月13日(金)		
	合格発表日時	平成29年2月10日(金) 13時		
センター試験利用(中期)	募集人員	物理学科 10名		
	試験日	平成29年1月14日(土)・15日(日) (大学入試センター試験)		
	受付期間	平成28年12月16日(金)～平成29年2月6日(月)		
	合格発表日時	平成29年2月22日(水) 13時		
センター試験利用(後期)	募集人員	物理学科 3名 化学科 5名 生物科学科 5名		
	試験日 (本学部の課す個別試験)	平成29年3月1日(水)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成29年2月13日(月)～平成29年2月22日(水)		
	合格発表日時	平成29年3月8日(水) 13時		

第51回北里大学講演会(理学部同窓会担当)について

担当委員長 蓮沼 良一 (HC11)

この度、理学部同窓会は第51回北里大学講演会を担当します。テーマは『カラダを守る』で、生体防御や免疫に係る話題を用意させていただきました。一題目は、免疫力の向上や肥満の防止に役割を果たしているといわれる乳酸菌を中心とした腸内細菌の話を、二題目は、春になると悩まされる方も多と思われる花粉症に纏わる話です。

<演題と演者プロフィール>

講演1 「健康と微生物」

鈴木 信之 先生

わかもと製菓株式会社薬粧事業部ヘルスケア開発部部长

玉川大学院農学研究科修士課程修了

東海大学医学部医学博士取得

乳酸菌などを利用した種々の商品開発に従事

講演2 「花粉症のはなし」

石井 豊太 先生

独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 地域医療・情報部長

北里大学医学部医学科卒業

北里大学耳鼻咽喉科講師

国立相模原病院耳鼻咽喉科医長

日本耳鼻咽喉科学会、日本アレルギー学会、日本気管食道科学会他に所属



**「富士急ハイランド・河口湖」へ
「町田・本厚木・橋本」から高速バス毎日運行中**

神奈川中央交通株式会社 [かなちゅう](#) [検索](#)

【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報公開サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様からも是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「進路・就職」から入力できますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方も「進路支援システム」がご利用できます。ご利用頂く場合には、ID・パスワードが必要となりますので、就職センターまでご連絡ください。

【北里大学 就職センター】 TEL 042-778-9745・9747
E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【理学部パンフレット同封について】

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

【同窓会へのメールについて】

近年、迷惑メールが増加しております。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

＜卒業年または卒業期、卒業学科、氏名＞

記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または
6HC 理学太郎

【ホームページ移転と事務局メールアドレス変更に関するお知らせ】

理学部同窓会のホームページは、サーバー移転に伴い独自ドメインでの運用を開始しました。

新しいURLは、

(1) <http://kitasato-rigaku-d.jp>

(2) <http://北里大学理学部同窓会.jp>

の2つになります。どちらのURLからでもアクセス可能です。ブックマークをされている方は、更新をお願いいたします。

また、独自ドメインでの運用に伴って、事務局のメールアドレスも変更しました。新しいメールアドレスは、info@kitasato-rigaku-d.jp です。

2016年末までは移行期間として旧アドレスも使用可能としております。詳細は同窓会ホームページ上にてお知らせいたします。

編集後記

理学部同窓会会員の皆さま、こんにちは。化学科3期生の中野章代（旧姓鈴木）です。同窓会報第19号が完成致しましたのでお送り致します。寄稿いただきました方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。本会は、HPのURLとEmailアドレスを一変し、さらなる情報更新に邁進しております。同窓会報またHPにつきまして、下記の事務局まで是非ご意見ご感想をお寄せください。

本会役員の酒井利奈先生らが受賞された2014年イグ・ノーベル物理学賞に続き、北里大学特別栄誉教授の大村智先生が2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞されました。北里同窓生にとって、これほど誇らしいことはありません。国内だけでなく、本号の寄稿者であるイギリス在住の小野さんをはじめ、世界中で活躍している同窓生も、胸を張って北里大学の話に花を咲かせたことでしょう。これから同窓生の皆さまの益々のご活躍を心からお祈り致しております。

また、2016年2月7日（日）に本会主催の北里大学同窓会講演会が小田急ホテルセンチュリー相模大野にて開催されます。今話題の腸内細菌と春に悩まされる方が多い花粉症についてのお話です。沢山のご来場をお待ちしております。是非皆さま、久しぶりに相模大野の地を訪れてみませんか。

北里大学理学部同窓会報

発行 平成28年1月20日

発行者 北里大学理学部同窓会

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1

北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032

E-mail: info@kitasato-rigaku-d.jp

責任者 沼上清彦

人間ドックのご案内

学校法人 北里研究所

北里大学東病院 健康科学センター

北里大学東病院健康科学センターでは、予防医学の観点から皆様の健康維持・増進並びに疾病の早期発見のため、「人間ドック(総合健診)」を行っております。

北里大学理学部同窓会会員、および配偶者のみなさまには特別料金にてご提供させていただいておりますので、この機会に是非人間ドックをご利用いただき、ご自身、ご家族の定期的な健康管理に役立てていただければ幸いです。



●コースと料金

コース	上部消化管内視鏡 (胃カメラ) 検査	上部消化管X線造影 (胃バリウム) 検査
基本コース	48,600円	45,680円
標準コース	65,120円	62,200円
特別コース	121,500円	118,580円
特別コース(レディース)	138,990円	136,080円
健保連コース(※)	42,760円	39,850円

◆上記料金は全て税込み(通常料金の10%引き)です。

◆その他、特別料金の対象外となりますが、各種オプション検査もご用意しております。

※「健保連コース」は、私学共済組合・組合健保加入の本人・配偶者の方が対象となります。受診される方が、国民健康保険や協会けんぽに加入している場合は「基本コース」または「標準コース」からの選択となります。ご注意ください。

●ご予約・お問合せ

月曜日～金曜日(祝日を除く) 10時～16時

土曜日(第1週、第3週、第5週) 10時～13時

※お申し込みにあたっては、必ず「北里大学理学部同窓会会員または配偶者」であることを最初にお伝えください。



042-748-4119

(健康科学センター直通)

今一度、番号をお確かめの上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

〒252-0380 神奈川県相模原市南区麻溝台2-1-1

<http://www.kitasato-u.ac.jp/kitasato-dock/>

